

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第24回定例会 (平成30年9月定例会)

平成29年度決算	2	一般質問 (5人)	8
決算特別委員会	4	所管事務調査・議員活動報告	13
第24回定例会	6	編集後記	14

議会広報
平成30年10月
第29号



白樺コーラス会による追悼合唱



戦没者遺族による献花
関連記事 編集後記

平成29年度決算

<財源構成>

自主財源 22.8% (町税など)	依存財源 77.2% (地方交付税など)
--------------------------------	-----------------------------------

各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	95億9337万円	92億9974万円	2億9363万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億4627万円	4億4175万円	452万円
	国民健康保険	27億1432万円	25億7187万円	1億4245万円
	介護保険	24億2213万円	22億8085万円	1億4128万円
	下水道事業	4億0172万円	3億9821万円	351万円
	農業集落排水処理施設事業	1億1603万円	1億1417万円	186万円
	簡易水道事業	9702万円	9399万円	303万円
	住宅用地造成事業等	289万円	58万円	231万円
	ケーブルテレビ事業	2837万円	2717万円	120万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	26億7547万円	26億6733万円	814万円	
資本的収支	4億9931万円	6億7495万円	△1億7564万円	

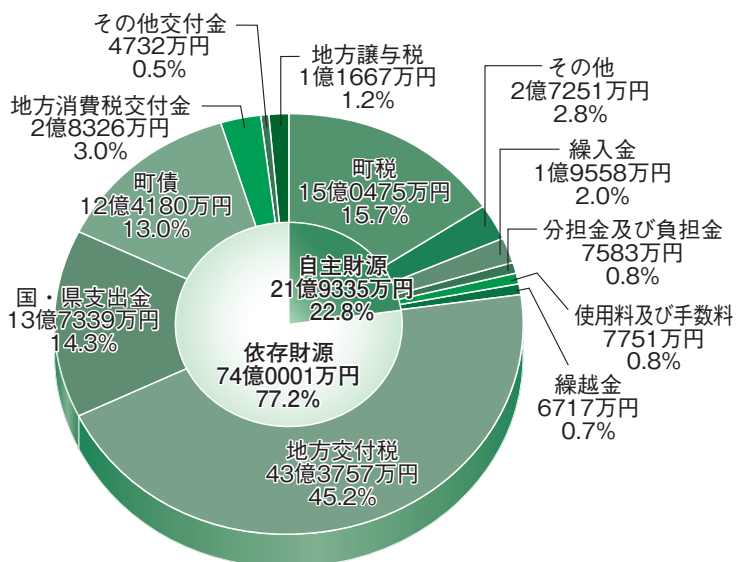
一般会計の自主財源である町税や使用料などは22.8%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が77.2%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)と借金(町債)に頼っています。

平成29年度決算状況

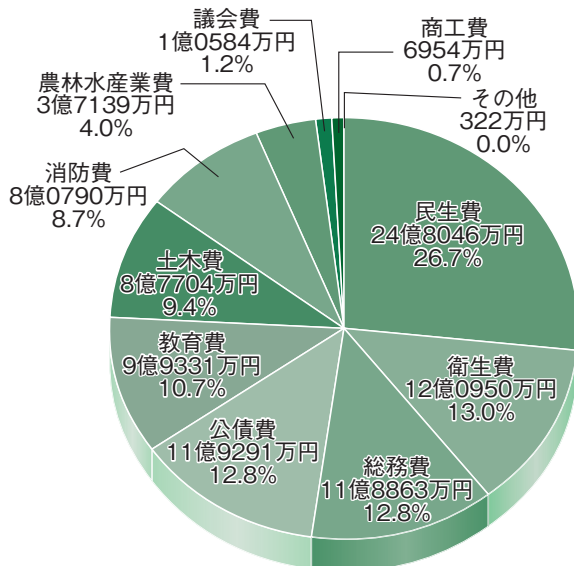
また、歳出の人件費や公債費(借金返済)などの義務的経費は、歳出全体の39.2%を占め、前年度に比べ4千999万円の増額となりました。

一般会計決算

歳入



歳出



町税等の未収金の状況

区 分	28年度末	29年度末	増減額
町税*	1億0654万円	9398万円	△ 1256万円
放課後児童クラブ保護者負担金	12万円	2万円	△ 10万円
五戸台地負担金	198万円	0万円	△ 198万円
給食費保護者負担金	264万円	281万円	17万円
ブドロク放牧場使用料	0万円	173万円	173万円
町営住宅使用料及び共益費	138万円	124万円	△ 14万円
屋外広告物等許可手数料	0万円	2万円	2万円
土地貸付料	349万円	275万円	△ 74万円
奨学資金償還金	843万円	881万円	38万円
雑入	3万円	0万円	△ 3万円
後期高齢者医療保険料	450万円	△ 6万円	△ 456万円
国民健康保険税	1億6942万円	1億5315万円	△ 1627万円
介護保険料	306万円	435万円	129万円
下水道受益者負担金・使用料	787万円	744万円	△ 43万円
農業集落排水分担金・使用料	266万円	260万円	△ 6万円
簡易水道使用料	677万円	662万円	△ 15万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	112万円	104万円	△ 8万円
合 計	3億2001万円	2億8650万円	△ 3351万円

*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額
 ※翌年度繰越分及び未還付額は除く

未収金(滞納)総額

2億8650万円

平成29年度末の不納欠損額は1069万円で処分後の未収金は、2億8650万円で、町税と国民健康保険税で86.3%を占めています。また、前年度末に比べ33.51万円少なくなっています。

不納欠損処分とは

債務者が死亡し相続人もいない場合や、今後も徴収の見込みがたない場合、その金額を消滅させること。

町債(借金)の状況

会 計 名	29年度末
一般会計	111億7000万円
下水道事業特別会計	26億5431万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	7億3372万円
簡易水道事業特別会計	2億1304万円
五戸町病院事業会計	27億6279万円
合 計	175億3386万円
町民1人当たり	100万円

町債

町財政の借金である町債合計は、175億3386万円で、前年度に比べて1億1002万円減額となりました。

「借金 町民一人当たり100万円」

「貯金 町民一人当たり24万円」
 基金
 一方、貯金である基金合計は、41億5863万円で、前年度に比べて5億4075万円増額となりました。

基金(積立金)の状況

基金名	29年度末	基金名	29年度末
財政調整基金	20億1957万円	地域振興基金	10億7498万円
減債基金(地方債償還のための積立)	4億2933万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	258万円
土地開発基金	1億4574万円	過疎地域自立促進特別事業基金	7808万円
泉山教育振興基金	57万円	ふるさと納税寄付金基金	0万円
木村秀政教育振興基金	182万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	2億1587万円
公共施設等整備基金	41万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
まちづくり特別事業基金	42万円	介護給付費準備基金	8856万円
地域福祉基金	90万円	下水道整備基金	2534万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	農業集落排水事業減債基金	228万円
人材育成基金	2762万円	ケーブルテレビ事業基金	3236万円
肉用牛一貫経営支援基金	566万円	合 計	41億5863万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

決算特別委員会

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：川村浩昭議員、副委員長：豊田孝夫議員)を設置し、平成29年度の一般会計決算、特別会計決算及び病院事業会計決算について審査しました。
※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



川村浩昭委員長

主な質疑

一般会計歳入

町税の収入未済額及び不納欠損処分額

問 大沢義之委員

固定資産税の収入未済が高額だが町としての対策は。

答 赤坂税務課長

徴収は県の滞納整理機構に委託している。町では月1回程度滞納者に対し催告をしている。

ふるさと納税寄附金

問 豊田孝夫委員

寄附金の内容は。

答 小村総合政策課長

年1934件で最大寄

附額は30万円が16件、最少額は1万円。

問 高山浩司委員

寄附金は経済の活性化になっていと思うが町長の感想は。

答 町長

ふるさとに貢献したいと思っている人がいることとはすばらしいこと。ただ、返礼品目的なのであれば制度改正が必要では。

五戸台地土地改良事業費負担金の不納欠損処分額

問 三浦專治郎委員

毎年不納欠損処分されているが未納者の責任は。

答 高谷農林課長

未納者は7名で、郵便や電話により催告した。本意ではあるが努力した結果である。

給食費保護者負担金滞納繰越額

問 三浦專治郎委員

滞納繰越額について収入額が無いが徴収において努力しているのか。

答 佐々木教育課長
平成16〜28年度までの69件の額。
郵便で催告はしている。

ブドロク放牧場使用料滞納繰越額

問 三浦專治郎委員

額の内容は。

答 高谷農林課長

2名分の額で1名は本年度完納している。

五戸台地土地貸付収入滞納繰越額

問 三浦專治郎委員

内容は。

答 高谷農林課長

5名分の額で少額ではあるが納付している。

一般会計歳出

【総務費】

ふるさと納税返礼品

問 川崎七洋委員

特定の業者に偏っていないのか。

答 小村総合政策課長

返礼品を活用している

のは町ではなく納付者なので偏りに対して策は講じていない。町は返礼品の充実を図りたい。



写真はイメージです。

返礼品の倉石牛

まちの駅基本設計業務委託料

問 川崎七洋委員

内容と成果は。今年度にも予算計上されているが内容は。

答 小村総合政策課長

平成28年度繰越しし昨年度実施したもの。成果としては建設概要、コンセプト、建設費等報告書の委託。それをもとにパブリックコメントを募集。今年度は概要とパブコメをもとに実施設計を委託するもの。議員と議論のため発注はしていない。

移住PR用動画作成業務委託料

問 高山浩司委員

内容と成果は。

答 小村総合政策課長

町の公認キャラクターである「おんこちゃん」を活用し作成した動画。移住ナビ、YouTube等に掲載している。成果はまだない。

結婚支援交流の場づくり業務委託料

問 三浦專治郎委員

委託先、回数、成果は。

答 小村総合政策課長

(株)RABサービスに委託している。アピル五戸で一回開催し男性14名、女性9名の参加者があり現在のところ結婚したとの報告はない。

問 鈴木隆也委員

参加者が集まらない対策として連携中枢都市圏の枠組みで開催しては。

答 小村総合政策課長

今後、実施予定。事業のPRをしていきたい。

お試し住宅工事費

問 三浦專治郎委員

内容は。

答 小村総合政策課長

旧倉石中教員住宅2棟を改装した費用。内装、湯沸し器等を修繕した。地域おこし協力隊に住んでもらい試した。夏休み等を利用して貸付けた。

【民生費】

障がい者相談員謝礼

問 大沢義之委員

内容は。

答 服部福祉課長

相談員は2名。障がい者の方が日常生活等の困りごとの相談に対応している。

【農林水産業費】

農業次世代人材投資資金

問 三浦專治郎委員

内容は。

答 高谷農林課長

45歳未満の独立自営就農者に対し所得等要件を

満たす者に対して年最大150万円を最長5年間給付している。

機構集積協力金

問 三浦專治郎委員

内容は。

答 高谷農林課長

機構に農地を貸付ける等の経営転換協力金が12名、農地を機構に貸付けた者、耕作者集積協力金14名に交付している。

【消防費】

五戸消防署耐震診断業務委託料

問 三浦俊哉委員

旧消防署の耐震診断は必要なのか。

答 畑山総務課長

新消防署建設費用を緊急防災・減災事業債を活用するために旧消防署の耐震診断結果が必要だったため。

【教育費】

放課後子ども教室謝礼

問 鈴木隆也委員

民生費の放課後児童ク

ラブ支援員との内容の違いは。

答 佐々木教育課長

水、金の週2回放課後コデイネーターと昔の遊び等で時間を過ごす。

学校支援ボランティアコーディネーター謝礼

問 鈴木隆也委員

内容は。

答 佐々木教育課長

小学校で募集し五小3名、倉小2名で学校図書室の整理、プールの監視、登下校の見守りをしていく。

下水道事業会計歳入

一般会計繰入金

問 鈴木隆也委員

一般会計から1億9千万円近く繰入金があるが、受益者負担金の増額の協議はあるか。

答 松坂建設課長

今後、事業の方向性も含めて検討し議員に報告する。

農集排事業会計歳入

農業集落排水工事分担金及び処理施設使用料の滞納繰越額

問 鈴木隆也委員

内容は。滞納者に対する対応は。

答 松坂建設課長

分担金は平成11～17年度までの24名分、使用料は平成16～28年度の延べ60名分である。督促状、催告状の発送、電話、訪問等している。

簡易水道事業歳入

簡易水道使用料滞納繰越額

問 鈴木隆也委員

内容は。

答 松坂建設課長

平成14～28年度までの延べ153名分である。

第23回 平成30年7月 臨時会

7月13日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 3件			
原案可決	同意	承認	認定
3件	0件	0件	0件

町長提出案件

財産の取得 1件

●第15分団消防ポンプ自動車(CD-I)の購入
(株)八戸鉄工所
2138万4千円

条例の制定 1件

●五戸町乳幼児等医療費給付条例の一部改正
・乳幼児医療費給付対象保護者の所得基準額の拡充

補正予算 1件

●病院事業会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)
過年度損益修正損
3813万5千円
・病院事業収益総額
28億8067万3千円

審議の結果

全員賛成で可決

第24回 平成30年9月 定例会

9月6日から12日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 16件			
原案可決	同意	承認	認定
12件	2件	0件	2件

町長提出案件

報告 3件

●平成29年度青森県新産業都市建設事業団の決算について

●平成29年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

●平成29年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

●条例の一部改正 1件

●五戸町町税条例の一部改正

・個人所得税及びたばこ税に関する条例の一部改正に伴う改正

審議の結果

全員賛成で可決

●補正予算 8件

●一般会計補正予算(第2号)

・補正額(増額)

3億7754万8千円

・予算総額(補正後)

94億6711万円

【主な内容】

・病院事業会計負担金
2億3512万7千円

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

179万3千円

・予算総額(補正後)
4億4207万8千円

【主な内容】

・一般職給及び職員手当等

●国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

・補正額(増額)

477万7千円

・予算総額(補正後)
22億9845万7千円

【主な内容】

・療養給付費交付金返還金等
223万1千円

●介護保険特別会計補正予算(第2号)

・補正額(増額)

75万3千円

・予算総額(補正後)
23億5270万2千円

【主な内容】

・一般職給及び職員手当等

●下水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

837万3千円

・予算総額(補正後)
4億1462万6千円

【主な内容】

・マンホールポンプ更新工事費等
734万4千円

●簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

85万円

・予算総額(補正後)
9461万7千円

【主な内容】

・給水車運搬手数料等
81万2千円

●住宅用地造成事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)

807万8千円

・予算総額(補正後)
1194万9千円

【主な内容】

・一般会計繰出金等
736万円

●病院事業会計補正予算(第2号)

・収益的収入

2億1860万9千円
増の28億2041万5千円

【主な内容】

・一般会計からの繰入金
等

・収益的支出
4509万6千円増の
29億2576万9千円

【主な内容】

・ロー・コスト・オペレーション・コンサルティング業務委託料等
資本的収入
出資金2482万8千円を追加、3億634万1千円

【主な内容】

・資本的支出
病院備品費149万1千円を追加し5億3112万2千円

●尾形裕之議員
増額補正理由は、

●小村総合政策課長
三大美肉を使った商品だけでなく既存の商店も掲載したマップを作成しPRするもの。

●小村総合政策課長
減額補正理由は、

●小村総合政策課長
ブランドフード協議会の解散に伴い減額。

●小村総合政策課長
飲食店マップ作成業務委託料
4万1千円

●尾形裕之議員
減額補正理由は、

●小村総合政策課長
地域資源活用商品開発事業補助金

●尾形裕之議員
減額補正理由は、

●小村総合政策課長
減額補正理由は、現在の地域おこし協力隊の活動内容は、

議案に対する
主な質疑

一般会計補正予算

【総務費】

地域資源活用商品
開発事業補助金

●尾形裕之議員

減額補正理由は、

●小村総合政策課長

ブランドフード協議会
の解散に伴い減額。

●小村総合政策課長

飲食店マップ作成
業務委託料

●尾形裕之議員

増額補正理由は、

●小村総合政策課長

三大美肉を使った商品
だけでなく既存の商店も
掲載したマップを作成し
PRするもの。

●小村総合政策課長

減額補正理由は、

●小村総合政策課長

減額補正理由は、現在の
地域おこし協力隊の活
動内容は、

●小村総合政策課長

地域おこし協力隊員
活動報酬

●小村総合政策課長

減額補正理由は、現在の
地域おこし協力隊の活
動内容は、

●小村総合政策課長

減額補正理由は、現在の
地域おこし協力隊の活
動内容は、

●小村総合政策課長

【答】小村総合政策課長

地域おこし協力隊が任期満了になり再任用しなかったための減額。活動内容はホームページに掲載している。今後、広報などで顔が見えるように活動していきたい。

地域創生総合戦略事業

【問】鈴木隆也議員

講師謝礼の増額補正理由は。事業の必要性は。

【答】小村総合政策課長

町内住民からサイクルツーリズムに挑戦したいと相談があり町では山田先生に相談し事業内容について町民へ講演するための費用。観光振興の一環として実施するもの。

中心商店街周辺活性化業務委託料

【問】鈴木隆也議員

増額補正理由は。

【答】小村総合政策課長

今年度は産業と文化まつりを中心商店街で実施する予定であり、それに

伴い歴史みらいパークにおいて子ども向けのイベントを実施するための増額補正。

移住者受入態勢整備業務委託料

【問】鈴木隆也議員

増額補正理由は。

【答】小村総合政策課長

移住定住促進協議会の設置にむけたコーディネート業務、協議会支援業務等委託するもの。

【民生費】

倉石温泉施設工事費

【問】鈴木隆也議員

増額補正理由は。年々の維持管理費増額に対するの対策は。

【答】服部福祉課長

浴室にある排煙オペレーター男湯1か所、女湯2か所に係る修繕。倉石温泉の今後のあり方については現在協議中である。

【衛生費】

五戸町のちを支える自殺対策協議会委員報酬

【問】豊田孝夫議員

事業内容及び増額補正理由は。

【答】晴山健康増進課長

今年度実施予定の自殺対策計画策定において協議会の設置が必要であり委員報酬を補正したもの。

【農林水産業費】

夢の森収穫感謝祭・倉石牛肉まつり補助金

【問】尾形裕之議員

増額理由は。倉石牛だけでなく三大肉のPRをする場にしては。

【答】高谷農林課長

働き方改革の一環として例年職員が事業に休日従事していた分を人件費として実行委員会に助成するため。

【商工費】

野外音楽祭開催事業費補助金

【問】尾形裕之議員

減額理由は。

【答】小村総合政策課長

実行委員会に牛肉まつりとの合同開催を打診したが開催が難しいとの回答を受け減額。来年度以降実施するかは未定。

下水道事業特別会計

マンホールポンプ更新工事費

【問】鈴木隆也議員

増額補正だが公共下水道事業見直しの進捗状況は。

【答】松坂建設課長

昨年度から検討委員会を設置し協議してきた。内容は4月の全員協議会で説明したとおりである。

簡易水道事業特別会計

給水車運搬手数料

【問】鈴木隆也議員

増額補正理由は。

【答】松坂建設課長

倉石北部地区の簡易水道使用が取水量を上回り

断水する可能性があったため、また倉石大久保地区の給水管の破損による断水のため給水車を準備。今後の対策のため補正。

審議の結果

全員賛成で可決

認定 2件

●平成29年度五戸町一般会計・特別会計歳入歳出決算

●平成29年度五戸町病院事業会計決算

審議の結果

全員賛成で認定

追加提出案件

人事 2件

●教育委員の任命

◎三浦浩氏



五戸町字正場沢
主な職歴等
八戸タクシー株式会社
代表取締役(現職)
青森県立五戸高等学校
元PTA会長

任期

平成30年10月1日～
平成34年9月30日

●固定資産評価審査委員の選任

◎川崎弘司氏



五戸町大字切谷内字切谷
内村
主な職歴等
農業

任期

平成30年9月19日～
平成33年9月18日

審議の結果

全員賛成で同意

◎三浦浩氏

9月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



すずき りゅうや 鈴木 隆也 議員

◆観光振興整備事業の経過と成果は

町長 着実に商品開発に取り組み、一定の成果を上げている

質問④

観光振興整備事業の経過と成果は。

答三浦町長

「五戸まちあるき」、「古民家で飾るごのへひな人形」、歴史みらいパークで「ハロウィン」、「プレイグラウンド」、小渡平公園で「ピクニックマーケット」等を開催し、着実に商品開発に取り組み、一定の成果を上げている。

◆学校教育現場での働き方改革は

教育長 根本的なものが変わろうとしており、これから具体的に進められる

質問①

子どもの安全確保の取り組みは。

答柳町教育長

通学路の安全確保については9月に保護者に対してアンケート調査を実施し、危険箇所を把握する。その結果をもとに、警察や役場担当課と連携し対策を講ずる。

答柳町教育長

児童生徒へ定期的なアンケート調査を実施したり、学級担任による観察や本人以外からの情報提供を把握したり、いじめ発見に努めている。今後は町独自のいじめ防止対策協議会を立ち上げる。

質問① 住民協議会設置事業の経過と成果は。

答三浦町長

昨年度、まちづくり推進協議会が先行団体の視察を行い、住民協議会設置の方向性が決定された。現在、内容等の細部を検討している段階で、できるだけ速やかに住民協議会を設置したい。

質問②

まちの駅整備促進事業の経過と成果は。

答三浦町長

本年3月に基本計画（案）を策定し、6月にパブリックコメントを実施した。

今後はそれで頂いた意見を参考にしつつ、地方創生の核となる施設に据えて、地域活性化を図る整備計画を策定したい。

質問③

農村地域の活性化推進事業の経過と成果は。

答三浦町長

馬肉、倉石牛、青森シヤモロツクを使用した共通商品を開発するためブランドフード協議会を立ち上げ、三色丼を開発したが十分な評価が得られず解散した。現在、独自の商品を開発するため町の補助事業に3店舗が申請し、審査の段階。

このへグリーン・ツーリズム協議会では、農村地域の活性化を図るため、体験型観光や交流イベントを実施している。

しかし、会員数の減少により体験メニューも減少し、参加者が減っている。今後は会員の掘り起こし

五戸まつり等の既存の観光イベントは「はちのへDMO」と連携を図り、観光振興につなげたい。

*はちのへDMOとは八戸圏域連携中枢都市圏を形成する8市町村の観光地づくりの中心的役割を担う観光地域づくり推進法人のこと。八戸圏域での観光地域づくりを進めるため、来年4月の設立を目指している。

質問②

いじめに対する取り組みは。

答柳町教育長

昨年12月、文部科学省が教育現場での働き方改革の方策を策定した。今後、これらに従い当町でも実施していく。根本的なものが変わろうとしているが、児童生徒の健全な成長を第一に考える。

一般質問

◆希望のもてるまちづくりと今後の財政は

町長 5年後、10年後と厳しくなる



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

質問①

平成29年度決算において、健全化判断比率の実質公債費比率は10・2%、将来負担比率は47・2%となっており、平成19年、20年度からみると極めて良好である。また県40市町村の中でも17位、20位という結果になっている。ところが、町民は「町にお金がないため町長に何を言っても駄目だ」と言っていたり、五戸高校廃校決定後、希望が持てずにいる。町は、今後財政と町民の希望に叶うまちづくりとのバランスをどう考えるのか。

答二浦町長

平成19年、20年度から見ると、今の財政状況は大変良くなっているが、今後は厳しくなると考える。それは、町の公共施設の老朽化対策、ライフラインに影響する橋梁などが5年、10年後つくりかえが必要となるため

ある。また人口減少にもない交付税が減額になると予想される。指標は改善されてきてはいるものの余裕があるわけではなくむしろ財政を取り巻く環境は、厳しくなると見込んでいる。総合的に判断し行財政改革に努めながら今後のまちづくりを努めていきたい。

質問②

財政が厳しくなっていく中、なぜ地域交流館を造るのか。

答二浦町長

今、地域交流館を建てようとしている場所は、旧和田寛の跡地で、30年前からコミュニティパークとしての議論があったところで、現在は図書館もあるわけですが、商店街に来たお年寄りが休んだり、子どもたちが集まったり、地方創生としての町民が希望をもてる交流の場を提供したいと考える。

用語解説

【健全化判断比率】
・健全化判断比率とは「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定に基づき、議会に報告が義務付けられた「実質赤字比率」「実質公債費比率」「連結実質赤字比率」「将来負担比率」の4指標。



歴史みらいパーク



©東京ハイジ／五戸町

平成29年度決算に基づく財政の健全化判断比率の結果

	①実質赤字比率		②連結実質赤字比率		③実質公債費比率		④将来負担比率			
	主に一般会計でどれくらいの赤字があるか %		町全体（一般会計、特別会計、病院事業会計）でどれくらいの赤字があるか %		借金の返済にどれくらい支払っているか %		将来一般会計から負担されると想定される金額がどれくらい見込まれるか %			
早期健全化基準	14.38以上		19.38以上		25.0以上		350.0以上			
財政再生基準	20.00以上		30.00以上		35.0以上					
五戸町	赤字なし		赤字なし		10.2		47.2			
備考	早期健全化基準の基準値を超えた場合、財政健全化団体として自主的・計画的な財政の健全化が求められ、さらに悪化すると財政再生基準で審査される。									
実質公債費比率の推移 【単年度】	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	24.9	24.4	21.5	19.2	18.6	16.4	13.6	12.3	10.6	10.0



豊田 孝夫 議員

◆りんご黒星病発生への対策は

町長 県全体で増えており
憂慮している

答三浦町長

所有者が管理できなくなる前に、樹木の伐採・撤去や新たな担い手を探索対策を行っている。

答高谷農林課長

倉石地区と浅田地区を8月22日に実施。放任園の所有者に対し廃園に向けて貰うよう依頼している。

また、行政指導で強制的な伐採等は難しい。管理不十分な園地に対しては農協の指導員にお願いしている。

質問③

感染した樹木、果実、葉の処分はいかにすべきか。拡大防止の対策は。

感 染 した 樹 木 、 果 実 、

葉の処分はいかにすべきか。拡大防止の対策は。

◆鳥獣(熊)の被害対策は

町長 ワナを増設する

質問①

熊による農作物被害の件数は。

質問②

熊の捕獲及び効果的な熊よけ対策は。

答三浦町長

今年度は、養蜂3件、梨、桃、とうもろこしの6件。倉石、中市、浅水、豊間内、上市川全域で見られる。

答三浦町長

檻型ワナ、ドラム缶ワナを使用。ラジオなど音のでもの、電気柵、天敵の野生動物オオカミの尿の散布が考えられる。

質問③

熊用のワナは何基所有し管理はどうしているのか。またこれまでに何頭捕獲し処分はどうしているのか。

答三浦町長

ワナの所有は、檻型4基、ドラム缶型2基。五戸町鳥獣被害対策隊に依頼している。捕獲は2頭で致死させ埋設処分している。

◆町有林の販売による財源確保は

町長 定期的な財産収入を検討

質問①

町有林の保有面積は。また種類別の面積は。

質問②

間伐や草刈り等の管理方法は。

答三浦町長

保有面積842.3ha。樹種は赤松308ha、杉216ha、カラマツ17ha、榎58ha、栗24ha、樺14ha、その他雑木約200ha。

答三浦町長

管理は三八地方森林組合に委託し行っている。

質問③

販売可能な樹齢は。またその樹種、面積、販売見込み額、販売方法は。

答三浦町長

赤松40年、杉45年、広葉樹30年以上。カラマツ50年生2千万円、杉60年生5千7百万円、赤松80年生百万円、全体で88ha、7千8百万円を見込み、販売方法は一般競争入札、指名競争入札を考えている。

答三浦町長

県全域で発生しており当町では五戸・倉石地区で6農家6園地、浅田地区で4農家11園地。放任園の割合が多い。

質問①

五戸地区において、りんご黒星病の発生個所と発生原因は。

質問②

放任園に対する対策は。また、所有者に対する協力要請は。実地調査を行った結果は。



りんご黒星病

一般質問

◆スポーツ少年団についての現状認識は

教育長 五戸町総合型スポーツクラブへの移行が望ましい



たかやま こうじ 高山 浩司 議員

質問①

児童数が減少していることに伴い、スポーツの選択肢も少なくなっている現状をどう考えているのか。

答 柳町教育長

児童数の減少に伴い、活動規模の縮小や活動困難な種目がでてくると予想され、子どもたちが思うように活動できなくなる状況になると考えている。このため、五戸町総合型スポーツクラブに移行し活動することが望ましいと考えている。

質問②

クラブの指導は、保護者のボランティアに頼っている部分が多いように思うが、この現状をどのように考えているのか。

答 柳町教育長

スポーツ少年団の現状を考慮し、指導者についてもどのような方策が良いのか検討していきたい

と考えている。



要望

指導者とその報酬で生活できる体制で、町全体を包括した子どもから老年寄りまで通えるスポーツクラブ、つまりヨーロッパ型のスポーツクラブにするよう早急に検討していただきたい。



部活動の様子

◆部活動指導員の配置状況は

教育長 専門的な教員が少なく、外部指導者の協力が必要

質問①

五戸町内の中学校において、部活動指導員の配置の状況はどのようになっているか。

答 柳町教育長

各学校の教員が配置されているが、専門的な教

質問②

スポーツ庁は3月に示した中学の運動部活動のガイドラインで、教員の負担軽減や子どものけが

◆長期留学も助成の対象にしては

教育長 来年度予算に計上する

質問

町は現在、語学の短期留学に関して助成をしているが、長期留学は対象となっていない。語学を身に付けるためには、現地での勉強は少なくとも半年以上必要であると私

の周りの多数の留学経験者から聞こえてくるし、

自身の経験からもそのように思う。助成の対象に長期留学も含めるべきでは。

答 柳町教育長

留学期間やその他の内容を検討して事業を進展させ、出来れば長期留学も補助の対象にし、来年度予算に計上できるように検討したい。



防止のため、週2日以上
の休養日を設けるとして
いるが、順守されている
のか。

町内各中学校では週1
日から2日の休養を設け
ている。



かわむら ひろあき 川村 浩昭 議員

◆まちの駅整備構想基本計画案について 町民と意見交換会を開催しては

町長 パブリックコメントを実施したため必要性はない

質問①

まちの駅整備構想基本計画案に対するパブリックコメントは16件。大事な事業を進めるには沢山意見を取り入れるべきではないのか。

答三浦町長

寄せられた意見は、整備計画の参考にさせていただくとともに真摯に対応し町民との信頼関係を構築していきたい。

質問②

パブリックコメントはどのような方法で募集したのか。そもそもパブリックコメントが何かすら解らない町民が大多数、民意を聞く方法として町民性を含め適しているのか。

答三浦町長

ホームページ、ケーブルテレビ、毎戸回覧において周知した。

答小村総合政策課長

毎戸回覧においてパブリックコメントの意味は日本語でも掲載したので町民も解るはず。

質問③

各自治会等を回って説明し、意見募集はしないのか。

答三浦町長

説明会を開催する必要はないと考える。

質問④

以前基本計画案について説明したようだがどのようなものか。建設場所は適しているのか。



まちの駅建設予定地芝生広場

答三浦町長

基本計画案の説明会は行っていないが、中心商店街の方々と意見交換会は開催している。

◆統合して五戸高校をひばり野公園へ

町長 考えてはいない

質問①

文科省は公立高校に地域人材養成し地元離れを食い止め一極集中の是正につなげるため、人口減に悩む地域対象のモデル事業募集に手を挙げてみては。

答三浦町長

県立高校対象であり県の教育委員会に問い合わせたが、国の予算も具体的に決まっていないとのこと。五戸高校は閉校が決まっており町から申請することはできない。

芝生広場は減るが景観を含めさほど影響は無いと考えている。

芝生広場は減るが景観を含めさほど影響は無いと考えている。

質問②

八戸西高との統合に向けて考えなおしてみているかがか。

答三浦町長

平成33年3月に五戸高校は廃校が決定しており県教育改革推進委員会の第2期実施計画にはあがってこないと思われるため検討の余地はない。

質問③

ひばり野運動公園に五戸高校を新設してほしいと願いを込めて、土地は町が提供すると提案し、

答三浦町長

公園は町民がスポーツを楽しむところなので敷地内に学校は建てられない。



県立五戸高校

要望

少しでも望みがあるならこちらから色々調べに調べて頑張ってください。五戸の若人の為に国にも県にも町の為にぶつかって欲しい。心からお願いいたします。

所管事務調査

民生常任委員会

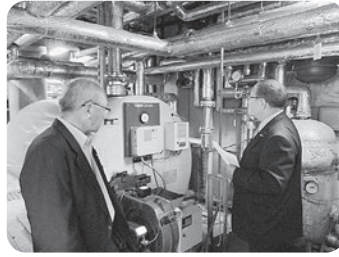
7月6日実施

調査内容

○倉石温泉の状況について

○社会福祉協議会の浴場等状況について

関係者から現在の施設
の設備、修繕等の状況な
どについての説明を受け
ながら、現地調査を行っ
た。



倉石温泉ボイラー室

倉石温泉では平成3年
製のボイラーでの営業を
行っており耐用年数を超
過しているため交換の検
討が必要。その他改修工
事に係る費用は多額。



社会福祉センターボイラー室

社協センター風呂の高
架水槽からの水漏れがあ
り、応急処置しているが
工事が必要。

●民生常任委員会(6人)

社会福祉、消防、上下
水道、総合病院、国民健
康保険、高齢者医療及び
介護保険に関する事務を
所管する。

委員長 川村 浩昭

副委員長 鈴木 隆也

委員 大久保 和夫

委員 和田 寛司

委員 大沢 博

委員 古田 陸夫

昨年度の調査実績

○五戸消防署建設進捗状
況の現地調査

○五戸消防署及び五戸町
の消防防災について

議員活動報告

県下町村議会議員研修

平成30年7月12日、青森市(リンクモア平安閣市民ホール)において県下町村議会議員研修が開催され議員14名が参加した。

講演

「今後の政局・政治の動きを読む！」



講師

読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏



三戸郡町村議会議長会正・副議長研修会

平成30年9月14日、八戸市(きざん八戸)において三戸郡町村議会議長会正・副議長・事務局長研修会が開催され議長、副議長、議員3名が参加し議会改革について研修を受けた。

講演

「今、なぜ議会改革が必要か」



講師

青森中央学院大学経営法学部 准教授 佐藤 淳 氏



第22回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

平成30年7月10日、階上町において八戸連携中枢都市圏形成議員促進連盟主催による勉強会が開催され議員16名が参加した。

講演 「地方創生における地域間連携について」

講師 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長 山崎 俊巳 氏

現地視察 はしかみハマの駅あるでい〜ば (平成30年5月オープン)

*この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。



第23回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

平成30年9月25日、三戸町において八戸連携中枢都市圏形成議員促進連盟主催による勉強会が開催され議員15名が参加した。

講演 「自治体戦略2040構想研究会と連携中枢都市圏について」

講師 総務省自治行政局市町村課課長 望月 明雄 氏

*次回、平成30年12月27日 上北郡おいらせ町で開催予定。



編集後記

9月20日(木)、五戸町立公民館大ホールにおいて「五戸町戦没者慰霊式」が挙行されました。先の大戦で尊い命を落とされた七百余名の五戸町出身戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げてまいりました。

平和ボケと揶揄されて久しい日本。しかし、昨年、北朝鮮から発射されたミサイルにより、Jアラートの放送が当町にも鳴り響きました。家族で身を寄せ、恐怖を感じたことを昨日のように覚えていきます。

大陸の軍備拡大を受け、SNSなどでは若者を中心に、先制攻撃の必要性など過激な意見が飛び交っているのを度々見かけます。

戦後73年、遺族会の皆様もだいたいご高齢になられております。しかし、戦争の悲惨さを後世に語り継ぎ、平和な日本であり続けることを切望致します。

委員 鈴木 隆也

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月6日開会予定です。詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、平成31年1月発行予定です。

発行責任者 議長 和田 寛 司
副委員長 川崎 七 洋
委員 鈴木 隆 也
委員 大久保 和 夫
委員 若宮 佳 一
委員 尾形 裕 之

広報常任委員会